

SGL046-06

会場:展示ホール7別室3

時間: 5月25日16:45-17:00

防災科学技術研究所による阿寺断層系における陸上科学掘削

Continental scientific drilling by NIED in the Atera fault system, central Japan

松田 達生^{1*}, 山田 隆二¹, 小村 健太郎¹, 池田 隆司²

Tatsuo Matsuda^{1*}, Ryuji Yamada¹, Kentaro Omura¹, Ryuji Ikeda²

¹防災科学技術研究所, ²北海道大学

¹NIED, ²Hokkaido Univ.

防災科学技術研究所では、活断層をターゲットとした断層帯掘削を行ってきた。断層帯掘削は、活断層の構造や構成、そして物理化学的な特徴を把握するために大変有効である。

防災科研では、1997年から2000年にかけて、阿寺断層周辺に深度400m?630mの井戸を6本掘削し、これらを利用したIn-situ応力測定やコアの分析（化学・鉱物組成や年代値等）また各種ロギングデータと地表での物理探査結果を併せて総合的な調査を行った。

また、今回その一部を、防災科学技術研究資料第343号「阿寺断層系における深層ボーリング調査の概要と岩石物性試験結果」としてまとめたので、その紹介も行う。

キーワード:活断層,陸上科学掘削,阿寺断層系,中部日本

Keywords: active fault, Continental scientific drilling, Atera fault system, Central part of Japan